

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2002年3月26日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。 （ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。） 分配対象額の範囲内で、1万円当たり1円単位で安定的な分配を行うことを基本とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

ワールド・ソブリンインカム （愛称 十二単衣）

第223期（決算日 2020年10月26日） 第226期（決算日 2021年1月25日）
第224期（決算日 2020年11月25日） 第227期（決算日 2021年2月25日）
第225期（決算日 2020年12月25日） 第228期（決算日 2021年3月25日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）」は、2021年3月25日に第228期決算を迎えたので、過去6ヵ月間（第223期～第228期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額	
	(分配)	税	達	期	期				
	分	配	金	騰	騰				
	円	円	騰	落	落	%	%	百万円	
				率	率				
199期(2018年10月25日)	7,971		20	△2.1	410.49	△1.5	84.6	—	74,504
200期(2018年11月26日)	8,024		20	0.9	412.23	0.4	94.5	—	74,986
201期(2018年12月25日)	7,866		20	△1.7	411.93	△0.1	89.2	—	73,535
202期(2019年1月25日)	7,854		20	0.1	412.05	0.0	84.4	—	73,686
203期(2019年2月25日)	7,939		20	1.3	417.33	1.3	91.2	—	75,128
204期(2019年3月25日)	7,934		20	0.2	419.02	0.4	87.3	—	74,441
205期(2019年4月25日)	7,971		20	0.7	422.71	0.9	92.8	—	74,725
206期(2019年5月27日)	7,854		20	△1.2	418.83	△0.9	87.4	—	73,788
207期(2019年6月25日)	7,888		20	0.7	423.31	1.1	93.7	—	73,889
208期(2019年7月25日)	7,877		20	0.1	424.60	0.3	85.7	—	74,598
209期(2019年8月26日)	7,794		20	△0.8	426.33	0.4	96.7	—	75,231
210期(2019年9月25日)	7,849		20	1.0	430.03	0.9	94.8	—	76,289
211期(2019年10月25日)	7,928		20	1.3	432.08	0.5	92.2	—	78,844
212期(2019年11月25日)	7,879		20	△0.4	429.68	△0.6	89.5	—	80,900
213期(2019年12月25日)	7,869		20	0.1	430.71	0.2	88.7	—	83,014
214期(2020年1月27日)	7,910		20	0.8	435.53	1.1	88.4	—	85,094
215期(2020年2月25日)	8,070		20	2.3	443.44	1.8	90.5	—	89,133
216期(2020年3月25日)	7,885		20	△2.0	441.57	△0.4	93.6	—	87,867
217期(2020年4月27日)	7,819		20	△0.6	435.16	△1.5	93.1	—	87,500
218期(2020年5月25日)	7,810		20	0.1	436.90	0.4	93.8	—	86,968
219期(2020年6月25日)	7,929		20	1.8	442.03	1.2	91.9	—	87,347
220期(2020年7月27日)	8,003		20	1.2	447.30	1.2	95.0	—	87,775
221期(2020年8月25日)	8,006		20	0.3	450.31	0.7	85.2	—	87,106
222期(2020年9月25日)	7,885		20	△1.3	446.34	△0.9	87.7	—	85,436
223期(2020年10月26日)	7,820		20	△0.6	446.32	△0.0	95.5	—	84,580
224期(2020年11月25日)	7,842		20	0.5	448.76	0.5	96.1	—	84,526
225期(2020年12月25日)	7,832		20	0.1	450.03	0.3	89.5	—	83,913
226期(2021年1月25日)	7,793		20	△0.2	448.00	△0.5	86.4	—	82,888
227期(2021年2月25日)	7,780		20	0.1	447.49	△0.1	94.3	—	81,993
228期(2021年3月25日)	7,792		20	0.4	452.56	1.1	89.5	—	81,438

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第223期	(期 首) 2020年9月25日	円 7,885	% —	ポイント 446.34	% —	% 87.7	% —
	9月末	7,936	0.6	449.36	0.7	86.7	—
	(期 末) 2020年10月26日	7,840	△0.6	446.32	△0.0	95.5	—
第224期	(期 首) 2020年10月26日	7,820	—	446.32	—	95.5	—
	10月末	7,774	△0.6	444.22	△0.5	91.5	—
	(期 末) 2020年11月25日	7,862	0.5	448.76	0.5	96.1	—
第225期	(期 首) 2020年11月25日	7,842	—	448.76	—	96.1	—
	11月末	7,832	△0.1	448.09	△0.1	96.1	—
	(期 末) 2020年12月25日	7,852	0.1	450.03	0.3	89.5	—
第226期	(期 首) 2020年12月25日	7,832	—	450.03	—	89.5	—
	12月末	7,863	0.4	451.23	0.3	89.6	—
	(期 末) 2021年1月25日	7,813	△0.2	448.00	△0.5	86.4	—
第227期	(期 首) 2021年1月25日	7,793	—	448.00	—	86.4	—
	1月末	7,834	0.5	450.23	0.5	87.6	—
	(期 末) 2021年2月25日	7,800	0.1	447.49	△0.1	94.3	—
第228期	(期 首) 2021年2月25日	7,780	—	447.49	—	94.3	—
	2月末	7,721	△0.8	447.85	0.1	94.3	—
	(期 末) 2021年3月25日	7,812	0.4	452.56	1.1	89.5	—

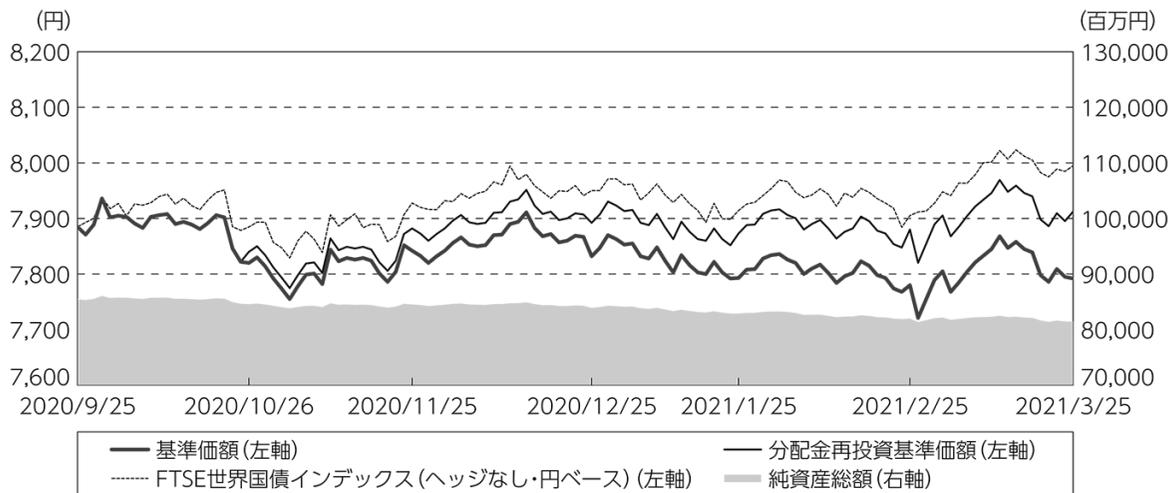
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2020年9月26日～2021年3月25日）



第223期首：7,885円

第228期末：7,792円（既払分配金（税引前）：120円）

騰落率：0.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2020年9月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・全ての投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米国債を筆頭にイタリアを除く投資国の長期債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。

投資環境

（2020年9月26日～2021年3月25日）

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、景気回復局面が続いたことや、2020年11月の米国の大統領選挙後に世界的な株高が進行したことを受けて、2020年中は債券利回りが総じて緩やかに上昇（価格は下落）しました。ただ、ユーロ圏では、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどから、利回り上昇が抑制される展開が続きました。2021年に入ると、米国において大規模な追加経済対策が成立するとの見通しが強まったことや、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を受けて経済活動の正常化への期待が高まったことから、米国を中心に投資国の債券利回りの上昇基調が鮮明となりました。この結果、当作成期における投資国の10年国債利回りは、イタリアを除き全ての投資国で上昇しました。イタリアに関しては、欧州中央銀行（ECB）のパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）の恩恵を受けたことに加え、ドラギ前ECB総裁の首相就任がサポート要因となり、利回りが低下（価格は上昇）しました。

＜為替市場＞

為替市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）が現在の金融緩和策を長期間維持するとの見方が強まったことに加え、米国の大統領選挙後に世界的な株高が進行したことを受けて、2020年中は米ドルと円が総じて軟調に推移する展開となりました。この過程では、米ドルが対円で小幅に下落する一方、米ドル以外の投資通貨が対円で上昇しました。2021年に入ると、世界的に債券利回りの上昇基調が鮮明となり、内外金利差が拡大（一部の国に対しては、内外金利差のマイナス幅が縮小）したことを受けて、投資通貨全般が対円で堅調に推移しました。この結果、当作成期においては、全ての投資通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2020年9月26日～2021年3月25日）

＜ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、7.12年～8.73年の範囲内での推移となり、作成期末は8.47年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当作成期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.5%～93.6%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当作成期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、円、ユーロが低め、米ドルが同程度、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

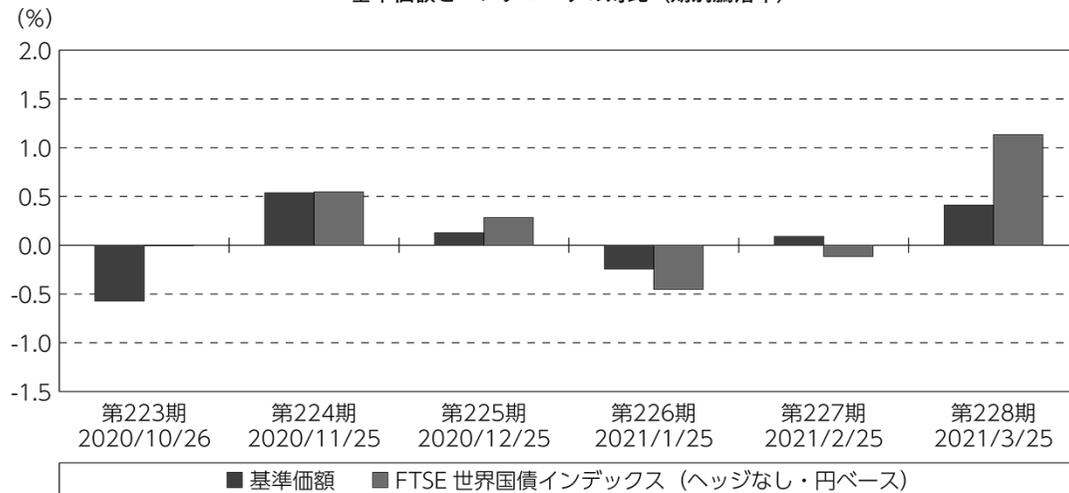
※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きいくらい、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年9月26日～2021年3月25日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.0%下回りました。債券要因では、イタリアを除く投資国の長期債利回りが上昇する中で、ベンチマークと比較し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションを短めに推移させましたが、国別の配分やデュレーション戦略が十分に機能せず、ベンチマークのパフォーマンスを下回る結果となりました。為替要因では、ベンチマークと比較し、オーストラリアドルを筆頭に外貨の投資比率を高めて推移させたことがプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

（2020年9月26日～2021年3月25日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利息・配当等収益等の全額としております。
 当作成期間におきましては、毎期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、
 収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期	第228期
	2020年9月26日～ 2020年10月26日	2020年10月27日～ 2020年11月25日	2020年11月26日～ 2020年12月25日	2020年12月26日～ 2021年1月25日	2021年1月26日～ 2021年2月25日	2021年2月26日～ 2021年3月25日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 0.255%	20 0.254%	20 0.255%	20 0.256%	20 0.256%	20 0.256%
当期の収益	11	16	12	11	10	14
当期の収益以外	8	3	7	8	9	5
翌期繰越分配対象額	204	202	195	187	179	174

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や米国における大規模な経済対策法案の成立等を背景に、2021年の年明け以降米国を中心に各国の長期債利回りが大幅に上昇しました。ただ、先行きの景気回復と利上げが概ね市場に織り込まれていると思われることや、ECBが長期債利回りの上昇を抑制する姿勢を鮮明にしていることから、当面債券利回りの上昇圧力は和らぐ可能性が高いと見ています。一方、今後各投資国のインフレ率の上昇が予想される中で、景気回復ペースの加速を示唆する経済指標の発表が続いた場合は、再び投資国の長期債利回りが上昇に向かう展開になると考えています。

為替市場では、2021年に入り各投資国の金利動向と各通貨のパフォーマンスとの相関が高まっています。相対的に日本の金利変動幅が小さいことから、世界的な金利上昇局面では内外金利差が拡大し円安が進行しやすいと思われます。また、海外金利の大幅な上昇を受けて、市場参加者の中期的な見通しが大きく変化しており、今後も米国主導の世界的な景気回復基調が続く中では、対米ドル中心に円安地合いが継続する可能性が高いと判断しています。

（運用方針）

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2020年9月26日～2021年3月25日）

項 目	第223期～第228期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(21)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	46	0.581	
作成期間中の平均基準価額は、7,826円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

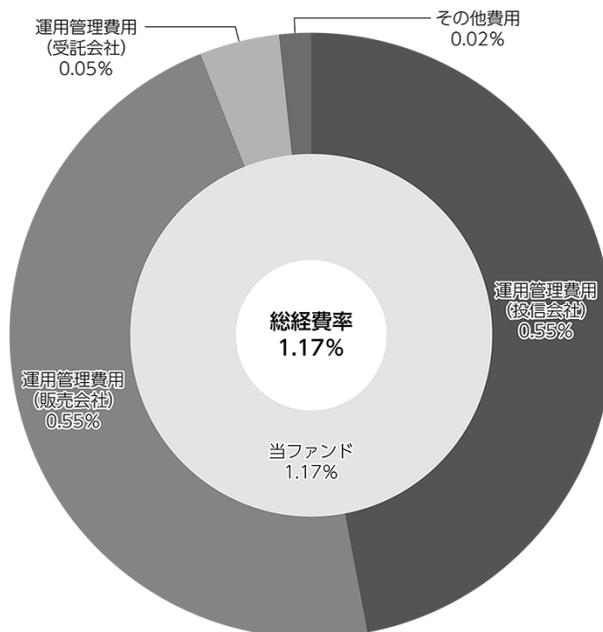
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年9月26日～2021年3月25日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第223期～第228期			
		設		約	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	—	—	2,289,524	4,719,281

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年9月26日～2021年3月25日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>

該当事項はございません。

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

区	分	第223期～第228期					
		買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債		86,539	2,502	2.9	84,133	999	1.2

平均保有割合 96.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

（注）公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

（2021年3月25日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第222期末	第228期末	
		口	口	評 価 額
		数	数	額
		千口	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	41,360,896	39,071,371	81,049,653

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2021年3月25日現在）

項 目	第228期末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 81,049,653	% 99.1
コール・ローン等、その他	732,052	0.9
投資信託財産総額	81,781,705	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（76,170,434千円）の投資信託財産総額（86,367,500千円）に対する比率は88.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=108.88円、1カナダドル=86.59円、1ユーロ=128.65円、1イギリスポンド=149.07円、1オーストラリアドル=82.69円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末	第227期末	第228期末
	2020年10月26日現在	2020年11月25日現在	2020年12月25日現在	2021年1月25日現在	2021年2月25日現在	2021年3月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	84,989,488,909	84,867,228,879	84,256,702,518	83,254,247,920	82,369,939,887	81,781,705,993
コール・ローン等	775,502,807	750,100,594	741,967,139	759,394,006	747,025,586	732,052,693
ワールド・ソブリンインカムマザーファンド(評価額)	84,213,986,102	84,117,128,285	83,514,735,379	82,494,853,914	81,622,914,301	81,049,653,300
(B) 負債	408,547,821	340,417,960	342,971,727	366,228,502	376,832,035	343,573,447
未払収益分配金	216,307,104	215,577,701	214,274,314	212,727,846	210,784,407	209,033,586
未払解約金	107,978,506	44,446,179	48,100,422	71,001,499	84,623,284	61,590,631
未払信託報酬	83,860,816	80,007,741	80,211,592	82,103,363	81,035,570	72,600,596
未払利息	612	630	370	369	283	294
その他未払費用	400,783	385,709	385,029	395,425	388,491	348,340
(C) 純資産総額(A-B)	84,580,941,088	84,526,810,919	83,913,730,791	82,888,019,418	81,993,107,852	81,438,132,546
元本	108,153,552,004	107,788,850,567	107,137,157,421	106,363,923,090	105,392,203,866	104,516,793,410
次期繰越損益金	△ 23,572,610,916	△ 23,262,039,648	△ 23,223,426,630	△ 23,475,903,672	△ 23,399,096,014	△ 23,078,660,864
(D) 受益権総口数	108,153,552,004口	107,788,850,567口	107,137,157,421口	106,363,923,090口	105,392,203,866口	104,516,793,410口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,820円	7,842円	7,832円	7,793円	7,780円	7,792円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第223期23,572,610,916円、第224期23,262,039,648円、第225期23,223,426,630円、第226期23,475,903,672円、第227期23,399,096,014円、第228期23,078,660,864円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第223期0.7820円、第224期0.7842円、第225期0.7832円、第226期0.7793円、第227期0.7780円、第228期0.7792円です。

(注) 当ファンドの第223期首元本額は108,355,107,741円、第223～228期中追加設定元本額は1,814,538,875円、第223～228期中一部解約元本額は5,652,853,206円です。

○損益の状況

項 目	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期	第228期
	2020年9月26日～ 2020年10月26日	2020年10月27日～ 2020年11月25日	2020年11月26日～ 2020年12月25日	2020年12月26日～ 2021年1月25日	2021年1月26日～ 2021年2月25日	2021年2月26日～ 2021年3月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 9,785	△ 8,224	△ 8,166	△ 7,320	△ 4,788	△ 4,240
受取利息	-	417	500	282	221	205
支払利息	△ 9,785	△ 8,641	△ 8,666	△ 7,602	△ 5,009	△ 4,445
(B) 有価証券売買損益	△ 396,639,927	526,863,491	191,812,062	△ 124,850,962	154,008,685	407,432,084
売買益	620,437	528,160,774	193,892,795	1,057,757	156,593,993	411,395,567
売買損	△ 397,260,364	△ 1,297,283	△ 2,080,733	△ 125,908,719	△ 2,585,308	△ 3,963,483
(C) 信託報酬等	△ 84,262,005	△ 80,393,858	△ 80,596,877	△ 82,498,955	△ 81,424,267	△ 72,949,171
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 480,911,717	446,461,409	111,207,019	△ 207,357,237	72,579,630	334,478,673
(E) 前期繰越損益金	△11,123,298,799	△11,651,011,734	△11,281,518,237	△11,206,370,563	△11,396,329,845	△11,316,704,112
(F) 追加信託差損益金	△11,752,093,296	△11,841,911,622	△11,838,841,098	△11,849,448,026	△11,864,561,392	△11,887,401,839
(配当等相当額)	(2,306,190,906)	(2,211,759,846)	(2,172,703,579)	(2,086,904,371)	(1,986,661,769)	(1,882,478,767)
(売買損益相当額)	(△14,058,284,202)	(△14,053,671,468)	(△14,011,544,677)	(△13,936,352,397)	(△13,851,223,161)	(△13,769,880,606)
(G) 計(D+E+F)	△23,356,303,812	△23,046,461,947	△23,009,152,316	△23,263,175,826	△23,188,311,607	△22,869,627,278
(H) 収益分配金	△16,307,104	△ 215,577,701	△ 214,274,314	△ 212,727,846	△ 210,784,407	△ 209,033,586
次期繰越損益金(G+H)	△23,572,610,916	△23,262,039,648	△23,223,426,630	△23,475,903,672	△23,399,096,014	△23,078,660,864
追加信託差損益金	△11,847,426,812	△11,876,430,355	△11,914,833,004	△11,939,613,748	△11,959,750,567	△11,944,994,483
(配当等相当額)	(2,211,321,413)	(2,177,675,628)	(2,097,177,445)	(1,996,982,443)	(1,891,885,329)	(1,825,286,135)
(売買損益相当額)	(△14,058,748,225)	(△14,054,105,983)	(△14,012,010,449)	(△13,936,596,191)	(△13,851,635,896)	(△13,770,280,618)
分配準備積立金	2,708,932,083	2,692,365,948	2,668,499,430	2,644,377,759	2,612,295,755	2,584,289,307
繰越損益金	△14,434,116,187	△14,077,975,241	△13,977,093,056	△14,180,667,683	△14,051,641,202	△13,717,955,688

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期	第228期
(a) 配当等収益(費用控除後)	120,973,588円	181,058,968円	138,282,408円	122,562,124円	115,595,232円	151,440,942円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	2,306,654,929円	2,212,194,361円	2,173,169,351円	2,087,148,165円	1,987,074,504円	1,882,878,779円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
分配対象収益(a+b+c)	2,427,628,517円	2,393,253,329円	2,311,451,759円	2,209,710,289円	2,102,669,736円	2,034,319,721円
分配対象収益(1万円当たり)	224円	222円	215円	207円	199円	194円
分配金額	216,307,104円	215,577,701円	214,274,314円	212,727,846円	210,784,407円	209,033,586円
分配金額(1万円当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期	第228期
1 万口当たり分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店					

〈お知らせ〉

先進国のソブリン債の流動性等を考慮した結果、信託財産留保額を廃止しても受益者の皆さまに不利益をもたらすものではないと判断したため、信託財産留保額を廃止するための約款変更を行いました。（実施日：2020年12月23日）

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第19期 運用状況のご報告
決算日：2021年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
15期(2017年3月27日)	18,209	△5.2	397.19	△3.5	85.2	—	92,361
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359
19期(2021年3月25日)	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—	84,082

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

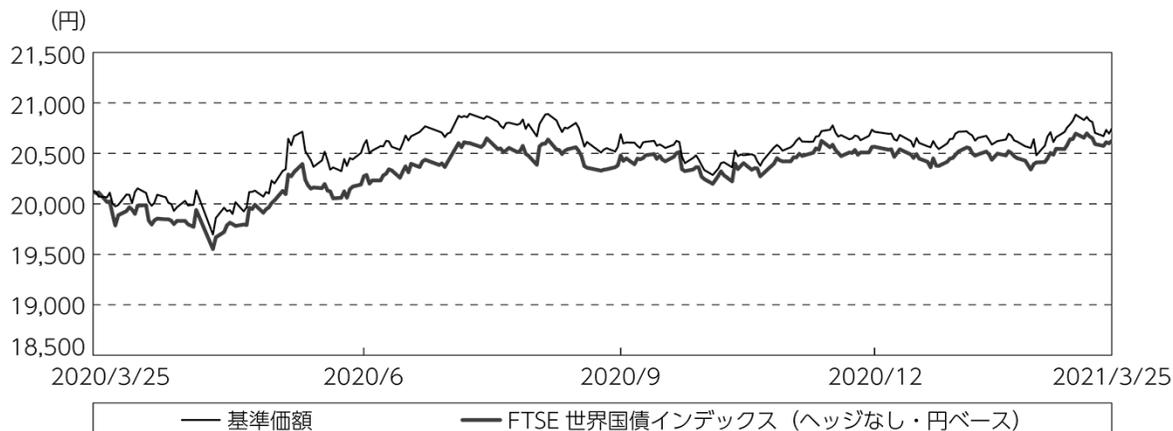
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2020年3月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	20,125	—	441.57	—	94.3	—
3月末	20,111	△0.1	439.41	△0.5	94.1	—
4月末	19,991	△0.7	433.84	△1.8	95.1	—
5月末	20,204	0.4	439.57	△0.5	94.3	—
6月末	20,586	2.3	444.88	0.7	92.6	—
7月末	20,708	2.9	449.00	1.7	89.3	—
8月末	20,670	2.7	447.34	1.3	88.0	—
9月末	20,689	2.8	449.36	1.8	87.2	—
10月末	20,336	1.0	444.22	0.6	91.9	—
11月末	20,562	2.2	448.09	1.5	96.5	—
12月末	20,716	2.9	451.23	2.2	90.0	—
2021年1月末	20,714	2.9	450.23	2.0	87.9	—
2月末	20,483	1.8	447.85	1.4	94.7	—
(期末) 2021年3月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年3月26日～2021年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2020年3月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・フランスとイタリアの長期債利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・米ドルを除く投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロ圏を除く投資国の長期債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。
- ・米ドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2020年3月26日～2021年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、前期末にかけて多くの中央銀行が利下げや量的緩和（国債等の資産を購入し市場に資金を供給する政策）による金融緩和を実施したことから、利回りが低下（価格は上昇）してスタートしました。その後も各国の債券利回りは総じて低位での推移となりましたが、徐々に景気回復の動きが強まったことや、2020年11月の米国の大統領選挙後に世界的な株高が進行したことを受けて、年末に向けて債券利回りは緩やかに上昇（価格は下落）しました。2021年に入ると、米国において大規模な追加経済対策が成立するとの見通しが強まったことや、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を受けて経済活動の正常化への期待が高まったことから、米国を中心に投資国の債券利回りの上昇基調が鮮明となりました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、ユーロ圏の投資国を除き上昇しました。ユーロ圏においては、欧州中央銀行（ECB）がパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）による資産購入を継続したことや、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどが、利回り低下要因となりました。特に、イタリアに関しては、欧州連合（EU）首脳会議での復興基金の創設合意やドラギ前ECB総裁の首相就任もサポート要因となり、大幅な利回り低下となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、主要先進国の強力な金融・財政政策に支えられ、世界的に株価が戻り歩調となったことや、徐々に景気回復の動きが強まったことから、投資家のリスク選好の動きが優勢となり、2020年中は米ドル以外の投資通貨が対円で堅調に推移しました。一方、米ドルに関しては、米連邦準備制度理事会（FRB）が現在の金融緩和策を長期間維持するとの見方を背景に、対円で軟調な推移が続きました。しかし、2021年に入ると、世界的に債券利回りの上昇基調が鮮明となり、内外金利差が拡大（一部の国に対しては、内外金利差のマイナス幅が縮小）したことを受けて、投資通貨全般が対円で堅調に推移しました。この結果、当期においては、米ドルが対円で小幅に下落した以外は、オーストラリアドルを筆頭に全ての投資通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年3月26日～2021年3月25日)

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション*を変化させました。デュレーションは、6.17年～8.86年の範囲内での推移となり、期末は8.47年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.5%～95.8%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、円、ユーロが低め、米ドルが同程度、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年3月26日～2021年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.6%上回りました。債券要因では、ユーロ圏を除く投資国の長期債利回りが上昇する中で、ベンチマークと比較し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションを短めに推移させましたが、国別の配分やデュレーション戦略が十分に機能せず、ベンチマークのパフォーマンスを下回る結果となりました。為替要因では、ベンチマークと比較し、オーストラリアドルを筆頭に外貨の投資比率を高めで推移させたことがプラスに寄与しました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や米国における大規模な経済対策法案の成立等を背景に、2021年の年明け以降米国を中心に各国の長期債利回りが大幅に上昇しました。ただ、先行きの景気回復と利上げが概ね市場に織り込まれていると思われることや、ECBが長期債利回りの上昇を抑制する姿勢を鮮明にしていることから、当面債券利回りの上昇圧力は和らぐ可能性が高いと見ています。一方、今後各投資国のインフレ率の上昇が予想される中で、景気回復ペースの加速を示唆する経済指標の発表が続いた場合は、再び投資国の長期債利回りが上昇に向かう展開になると考えています。

為替市場では、2021年に入り各投資国の金利動向と各通貨のパフォーマンスとの相関が高まっています。相対的に日本の金利変動幅が小さいことから、世界的な金利上昇局面では内外金利差が拡大し円安が進行しやすいと思われます。また、海外金利の大幅な上昇を受けて、市場参加者の中期的な見通しが大きく変化しており、今後も米国主導の世界的な景気回復基調が続く中では、対米ドル中心に円安地合いが継続する可能性が高いと判断しています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年3月26日～2021年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、20,480円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2020年3月26日～2021年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 14,049,535	千円 13,530,370
	外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 677,574
カナダ		国債証券	千カナダドル 384,666	千カナダドル 425,049
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ
ドイツ		国債証券	78,308	131,755
イタリア		国債証券	248,746	203,407
フランス		国債証券	33,001	31,522
イギリス		国債証券	千イギリスポンド 82,543	千イギリスポンド 107,369
オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 649,326	千オーストラリアドル 715,017	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月26日～2021年3月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 220,969	百万円 2,502	% 1.1	百万円 220,070	百万円 999	% 0.5

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2021年3月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 6,500,000	千円 6,511,280	% 7.7	% -	% 7.7	% -	% -	
合 計	6,500,000	6,511,280	7.7	-	7.7	-	-	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第357回利付国債 (10年)	0.1	2,000,000	2,012,180	2029/12/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	3,000,000	3,012,390	2030/6/20
第173回利付国債 (20年)	0.4	1,500,000	1,486,710	2040/6/20
合 計		6,500,000	6,511,280	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 299,000	千米ドル 308,742	千円 33,615,866	% 40.0	% —	% 30.6	% —	% 9.4
カナダ	千カナダドル 28,000	千カナダドル 28,501	2,467,924	2.9	—	1.4	—	1.6
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	25,000	32,253	4,149,448	4.9	—	3.3	1.6	—
イタリア	66,000	70,903	9,121,681	10.8	—	6.3	4.5	—
フランス	74,000	88,941	11,442,307	13.6	—	11.6	2.0	—
イギリス	千イギリスポンド 27,000	千イギリスポンド 37,865	5,644,632	6.7	—	6.0	—	0.7
オーストラリア	千オーストラリアドル 31,000	千オーストラリアドル 32,209	2,663,372	3.2	—	3.2	—	—
合 計	—	—	69,105,232	82.2	—	62.3	8.2	11.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	US TREASURY N/B 1.5	1.5	22,000	21,962	2,391,242	2030/2/15	
	US TREASURY N/B 1.625	1.625	52,000	44,273	4,820,457	2050/11/15	
	US TREASURY N/B 1.75	1.75	48,000	49,072	5,343,013	2029/11/15	
	US TREASURY N/B 1.875	1.875	30,000	27,173	2,958,643	2051/2/15	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	20,000	21,398	2,329,861	2026/3/31	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	24,000	25,663	2,794,201	2027/2/15	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	33,000	46,478	5,060,572	2030/5/15	
	US TREASURY N/B 8	8.0	50,000	52,507	5,717,050	2021/11/15	
	US TREASURY N/B 8.125	8.125	20,000	20,213	2,200,822	2021/5/15	
小 計					33,615,866		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	13,000	13,234	1,145,954	2051/12/1	
	CANADA-GOV'T 9.75	9.75	15,000	15,267	1,321,969	2021/6/1	
小 計					2,467,924		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	8,000	10,307	1,326,072	2048/8/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	8,000	11,177	1,438,008	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	9,000	10,768	1,385,367	2024/1/4

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	国債証券	BTPS 0.9	0.9	40,000	41,203	5,300,791	2031/4/1
		BTPS 4.5	4.5	16,000	17,655	2,271,403	2023/5/1
		BTPS 5	5.0	10,000	12,044	1,549,486	2025/3/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 0.5	0.5	11,000	11,682	1,502,988	2029/5/25
		FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	15,000	18,117	2,330,790	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	38,000	46,067	5,926,571	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	10,000	13,073	1,681,957	2025/10/25
小 計						24,713,437	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	16,000	24,191	3,606,253	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	7,000	9,609	1,432,450	2030/12/7
		UK TSY GILT 8	8.0	4,000	4,064	605,927	2021/6/7
小 計						5,644,632	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.5	1.5	20,000	19,694	1,628,513	2031/6/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	11,000	12,514	1,034,858	2039/6/21
小 計						2,663,372	
合 計						69,105,232	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	75,616,512	87.6
コール・ローン等、その他	10,750,988	12.4
投資信託財産総額	86,367,500	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (76,170,434千円) の投資信託財産総額 (86,367,500千円) に対する比率は88.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝108.88円、1カナダドル＝86.59円、1ユーロ＝128.65円、1イギリスポンド＝149.07円、1オーストラリアドル＝82.69円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	92,683,362,113
コール・ローン等	1,496,240,405
公社債(評価額)	75,616,512,375
未収入金	14,753,421,523
未収利息	652,555,303
前払費用	164,632,507
(B) 負債	8,601,125,950
未払金	8,601,081,071
未払利息	566
その他未払費用	44,313
(C) 純資産総額(A-B)	84,082,236,163
元本	40,534,004,851
次期繰越損益金	43,548,231,312
(D) 受益権総口数	40,534,004,851口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,744円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.0744円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は44,898,697,912円、期中追加設定元本額は533,158,504円、期中一部解約元本額は4,897,851,565円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)	39,071,371,626円
Wソブリン毎月分配型 (一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	586,248,539円
私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用)	352,911,389円
ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)	249,485,941円
ソブリンオープン (適格機関投資家専用)	124,612,808円
私募ソブリン07-04 (適格機関投資家専用)	98,200,603円
DCワールド・ソブリンインカム	51,173,945円

○損益の状況 (2020年3月26日～2021年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,747,437,924
受取利息	2,748,740,402
その他収益金	336,879
支払利息	△ 1,639,357
(B) 有価証券売買損益	△ 21,847,152
売買益	6,861,120,896
売買損	△ 6,882,968,048
(C) その他費用等	△ 10,551,704
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,715,039,068
(E) 前期繰越損益金	45,460,965,264
(F) 追加信託差損益金	537,629,337
(G) 解約差損益金	△ 5,165,402,357
(H) 計(D+E+F+G)	43,548,231,312
次期繰越損益金(H)	43,548,231,312

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。

<当ファンドのベンチマークについて>

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。